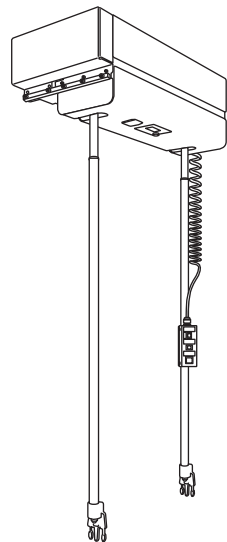


# SATOILET



「サットイレ」SAT01/SAT02  
**取扱説明書**

株式会社 **がまかつ**

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

・ご使用前に「安全上の注意」を必ず読んで下さい。

・この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管して下さい。

## もくじ

### ご使用前に 3

---

「安全上の注意」.....3

各部の名称.....5

### 使いかた 6

---

操作方法.....6

■ 制御スイッチの操作方法.....6

■ モーター制御の操作方法.....7

セットアップ.....8

■ 体幹支持具の取り付け.....8

■ モーター制御の設定.....8

介助をおこなう.....10

■ 体幹支持具の取り付け方法.....10

■ 立ち上がりの介助.....11

■ 着座の介助.....12

■ 旋回機構を使う.....13

### メンテナンス 14

---

外装のお手入れ.....14

体幹支持具のお手入れ.....14

点検について.....15

■ 日常点検.....15

■ 定期点検.....10

廃棄について.....15

### 定格・仕様 15

---

# ご使用前に

## 「安全上の注意」 ※必ずお守りください

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



### 警告

人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容



### 禁止 (してはいけない内容です。)

- (1) 次の人は使用しない。
  - 1 医師から胸部の圧迫を禁じられている人 (例: 胸部の骨折、外傷、血栓症、重度の動脈リウマチ (瘤)、急性静脈リウマチ (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 [皮下組織の炎症を含む] など)。急性とう (疼) 痛性疾患の人。
  - 2 下肢筋力の低下があり、踏ん張れない方や、立ち上がりや歩行が困難な人。
  - 3 自力で座ることができない人。
  - 4 下肢に拘縮や変形があり、足底が床につかない方や、両下肢切断の人。
- (2) 自分で意思表示できない人、または操作できない人に使わせない。
- (3) 子供や補助を必要とする人に操作をさせない。
- (4) 電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。
- (5) 電源コードや制御スイッチのケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、本体に巻き付けたりしない。
- (6) めれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
- (7) 絶対に改造しない。またご自分で分解したり、修理をしない。
- (8) 適用身長、体重以外の人は使用しない。



● **適正身長145cm～175cm**

● **耐荷重～80kgまで**



### 強制 (実行しなければならない内容です。)

- (1) 医師の治療を受けているときや次の人は必ず医師に相談のうえ使用する。
  - 1 骨粗しょう症の人、せきつい (脊椎) を骨折している人、ねんざ (捻挫)、肉離れなどの急性とう (疼) 痛性疾患の人。
  - 2 ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電気機を使用している人。
  - 3 妊娠中や出産直後の人。

- 4 急性腰痛、椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、脊椎間狭窄症、変形性腰椎症の症状がある人。
  - 5 前傾姿勢がとれない人、背骨に異常のある人、強度の円背姿勢の人。
  - 6 起立性低血圧などの症状がある方。
  - 7 安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき。
  - 8 上記以外に身体に特に異常を感じているとき。
- (2) 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときは、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
  - (3) 使用する前に体幹支持具の生地や縫製に破れやほつれがないか確認する。またその他の部分にも破損や劣化がないか確認する。
  - (4) 交流100Vで使用する。海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。火災や感電の原因になります。
  - (5) 電源プラグは定期的に掃除する。  
ホコリの付着・湿気などで絶縁不良になり漏電火災の原因になります。
  - (6) 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。
  - (7) 異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。  
停電復帰後に事故やけがの原因になります。



## 注意

人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容



### 禁止 (してはいけない内容です。)

- (1) 現在健康でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。
  - 1 筋肉、骨が衰えた人や痩身の人。
  - 2 骨や筋肉、内臓、神経に起因する腰痛の症状がある人。
  - 3 打ち身やねんざのしやすい人。
  - 4 過去に心臓や内臓の手術をされた人。
- (2) 体幹支持具を直接肌に当てない。
- (3) 使用後に体幹支持具の当たっている部分を確認する。発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。
- (4) 使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを切らない。
- (5) お手入れの際はシンナー、ベンジン、アルコール、熱湯は使用しない。

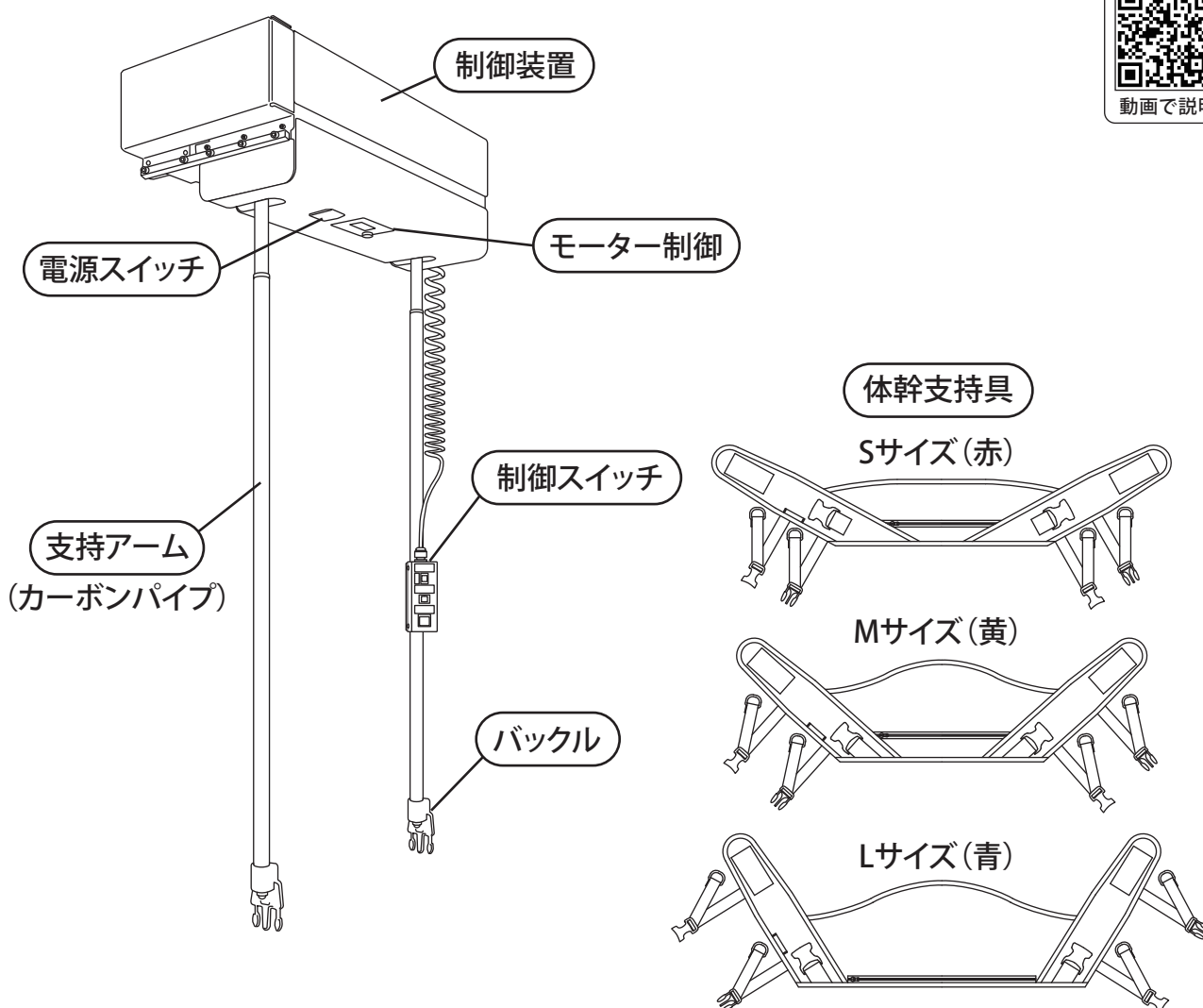


### 強制 (実行しなければならない内容です。)

- (1) トイレ内でカーボンパイプや体幹支持具に身体をぶつけない。  
事故やけがの原因になります。
- (2) 使用しないときは壁面に体幹支持具を掛けておく。  
事故やけがの原因になります。
- (3) 上下に動作する際、カーボンパイプの伸縮部分に触らない。  
事故やけがの原因になります。

- (4) 体幹支持具や器具は清潔に清掃する。  
接触感染する恐れがあります。
- (5) 制御スイッチは使用后、カーボンパイプに固定する。  
破損やけがの原因になります。
- (6) アースを確実に取り付ける。  
故障や漏電のときに感電の原因になります。
- (7) 長期間使用にならない場合は電源プラグをコンセントから抜く。  
ホコリの付着・湿気などで絶縁不良になり、漏電火災の原因になります。
- (8) お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いてから行う。また、ぬれた手でプラグにふれない。  
感電ややけどの原因になります。
- (9) 停電のときはただちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜く。  
停電復帰後に事故やけがの原因になります。

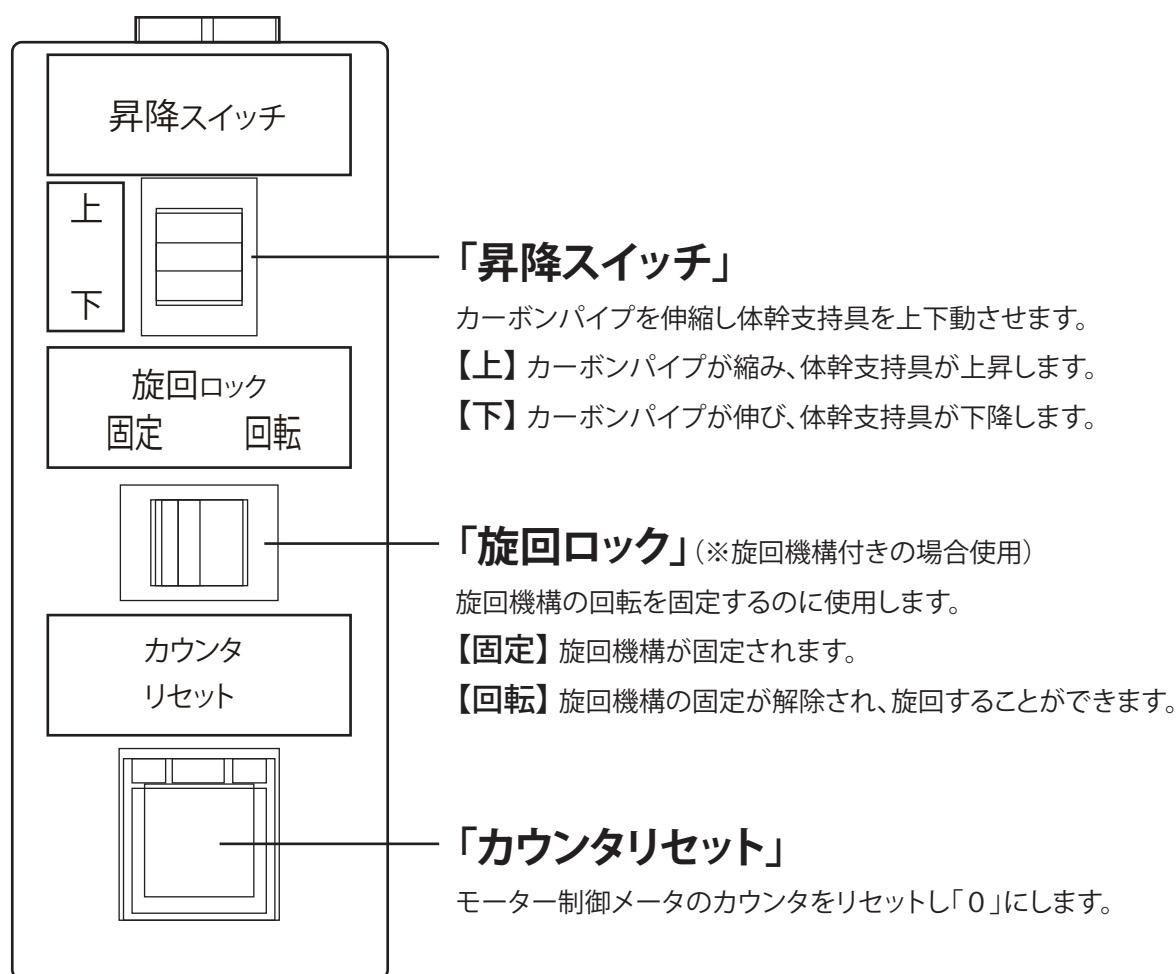
## 各部の名称



# 使いかた

## 操作方法

### — 制御スイッチの操作方法 —



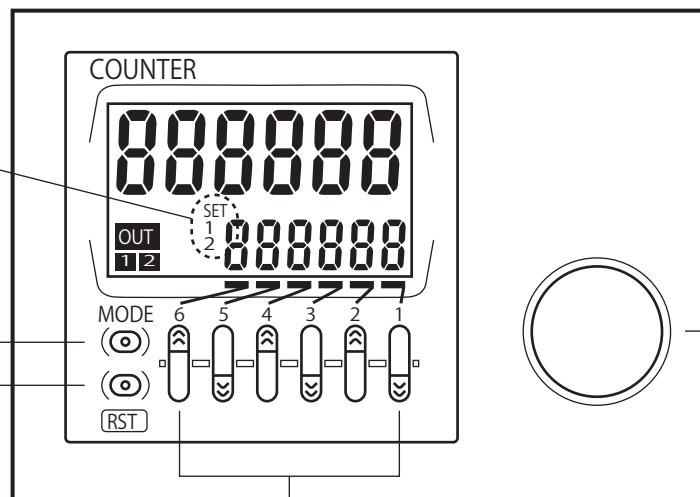
## — モーター制御 (支持アームの上下移動範囲制御) の操作方法 —

### 「MODE」

昇降と下降の動作範囲を設定する際、【SET】の切り替えを行います。

【SET 1】 0から上昇する量、

【SET 2】 0から下降する量の数値を表します。



### 「6～1」

それぞれのモードの数値を設定するのに使用します。

桁数ごとに変更します。

### 「RST」

カウンタリセットを行い、モードの数値を0にします。

### 「赤の丸ボタン」

エラーが出た場合のリセットボタン。

※通常使用しません (カスタマーサービス用)

# セットアップ

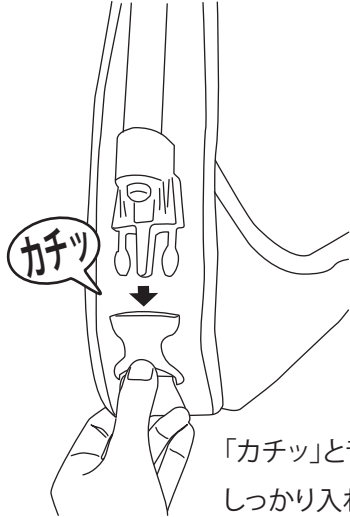
## — 体幹支持具の取り付け

① バックルを取り付ける。

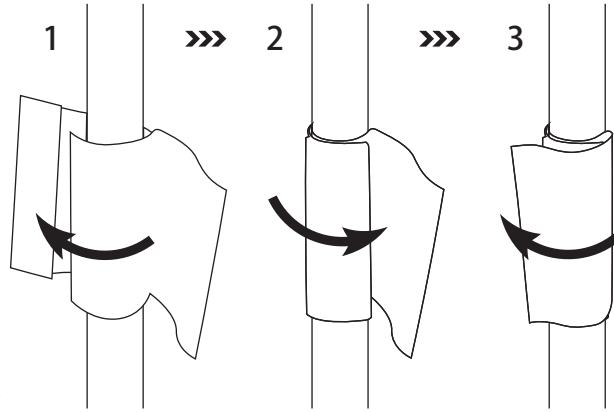
② 面ファスナーで固定する。



動画で説明



「カチッ」と音がするまで  
しっかり入れる。  
外れないことを確認する。



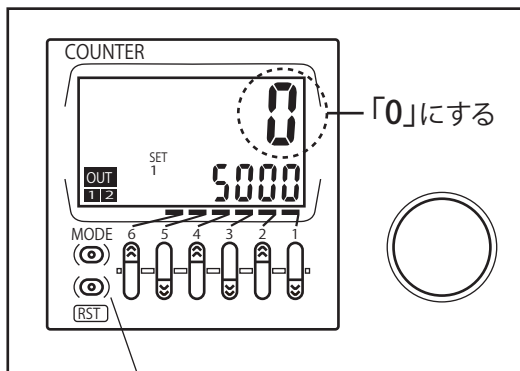
面ファスナーの固定方法

## — モーター制御 (支持アームの上下移動範囲制御) の設定

① 座位の状態で体幹支持具を仮装着し、脇に軽く上方方向の力がかかる位置に高さを調整する。

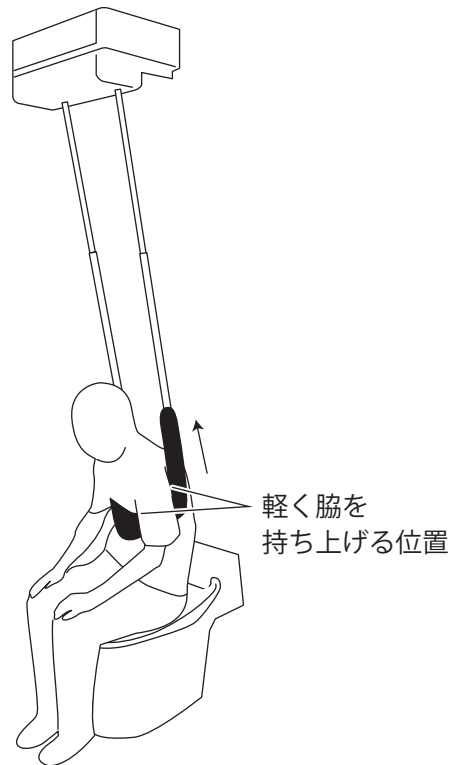
「カウンタリセット」を押し、モーター制御を「0」にする。

※設定中、途中で止まる(下がりきらない)時は「カウンタリセット」を押ししてから下げてください。 さらに止まる場合はそれを繰り返して下さい。



「カウンタリセット」

またはコントローラーの「カウンタリセット」を押す

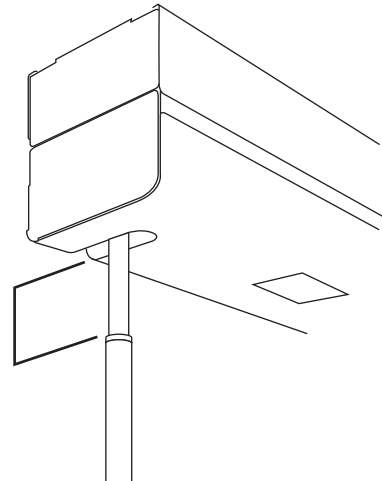




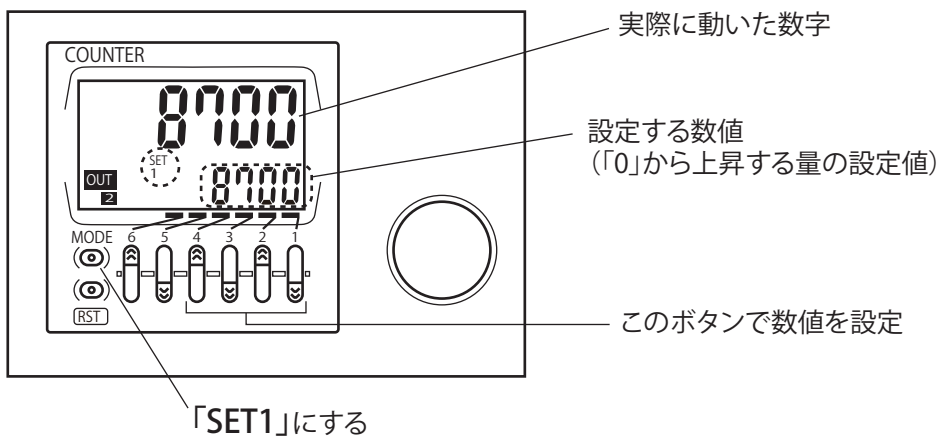
- ② 体幹支持具を装着していない状態で、手元側の太い方のカーボンパイプ上端が、本体カバーの約15cm下(ラインの位置)に来るところまで上昇させる。

※設定中、途中で止まる(上がりきらない)時は「カウンタリセット」を押してから上げてください。さらに止まる場合はそれを繰り返して下さい。※ラインの上まで上げすぎに注意して下さい。機械の破損につながります。

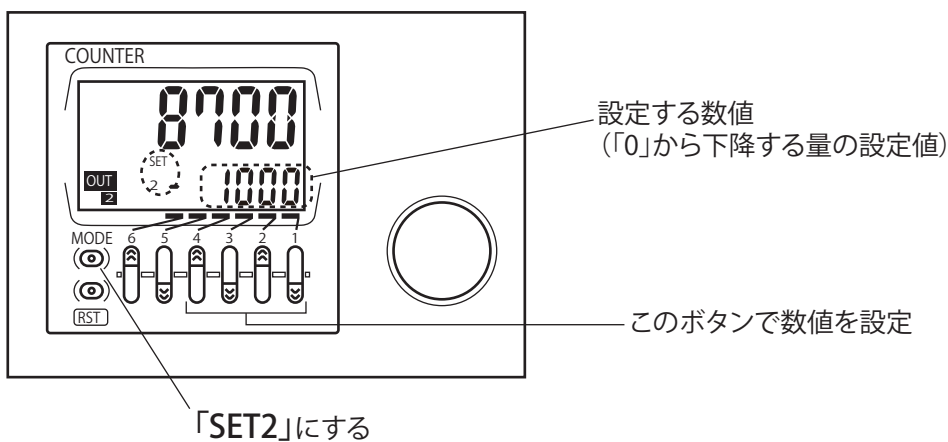
約15cm



- ③ その時の数値を「SET 1」の設定数とする。  
(例:表示された数値が8700であれば8700を設定する。)



- ④ 「SET 2」は-1000に設定する。

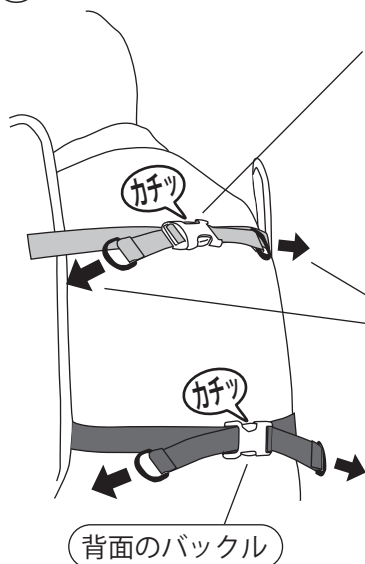


※ご使用を繰り返すうちに設定値がずれてくることがあります。その際は再設定をお願いします。

# 介助をおこなう

## 体幹支持具の取り付け方法

① 体幹支持具が脇の下にまわるように、腕を上から通す。



② 脇の下に体幹支持具が来ていることを確認し、背面のバックルを2か所取り付ける。

背面のバックルは「カチッ」と音がするまでしっかり差し込む。一度引っ張って外れないことを確認する

※ベルトは同じ色がペア（赤と赤、黒と黒をつなぐ）

③ 両方にベルトを左右に引きゆるみのないところまでしっかり締める。

特に下側のベルトは強めに締める

④ 正しい位置に装着されているか、ベルトが正しく装着されているか確認する。



動画で説明

## 体幹支持具の適正サイズの目安

Sサイズ ・ ・ ・ ・ ・ 小柄な方、体重の軽い方

Mサイズ ・ ・ ・ ・ ・ 成人女性、小柄な男性

Lサイズ ・ ・ ・ ・ ・ 成人男性、大柄な方

※バックルが届かない

→体幹支持具を大きなサイズに変更

※バックルが締めきらない

→体幹支持具を小さなサイズに変更

※大きすぎる場合、脱落の恐れがありますので適切なサイズをご使用下さい。

## 体幹支持具の「正しい装着」

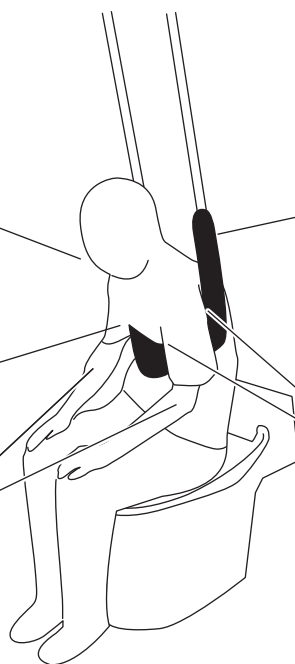
体幹支持具のサイズが大きすぎて顔面に干渉していない

胸に緩みなく適度な隙間で装着されている

両腕が体幹支持具の上から出ている

バックルが外れていない

体幹支持具が脇の直下に来ている



動画で説明

# — 立ち上がりの介助 —

①



②



③



動画で説明

カーボンパイプを持ち、被介護者を手前に引き寄せるように誘導しながら、昇降スイッチで上昇させる。

被介護者の上半身が前傾姿勢となり、体幹支持具に胸を乗せる態勢で引き上げる。

被介護者の膝が伸び切らない様に注意し、軽く折り曲がった状態の位置で上昇を止める。この時、被介護者は体幹支持具に胸を乗せるように意識してもらう。

## 立位の「正しい位置」

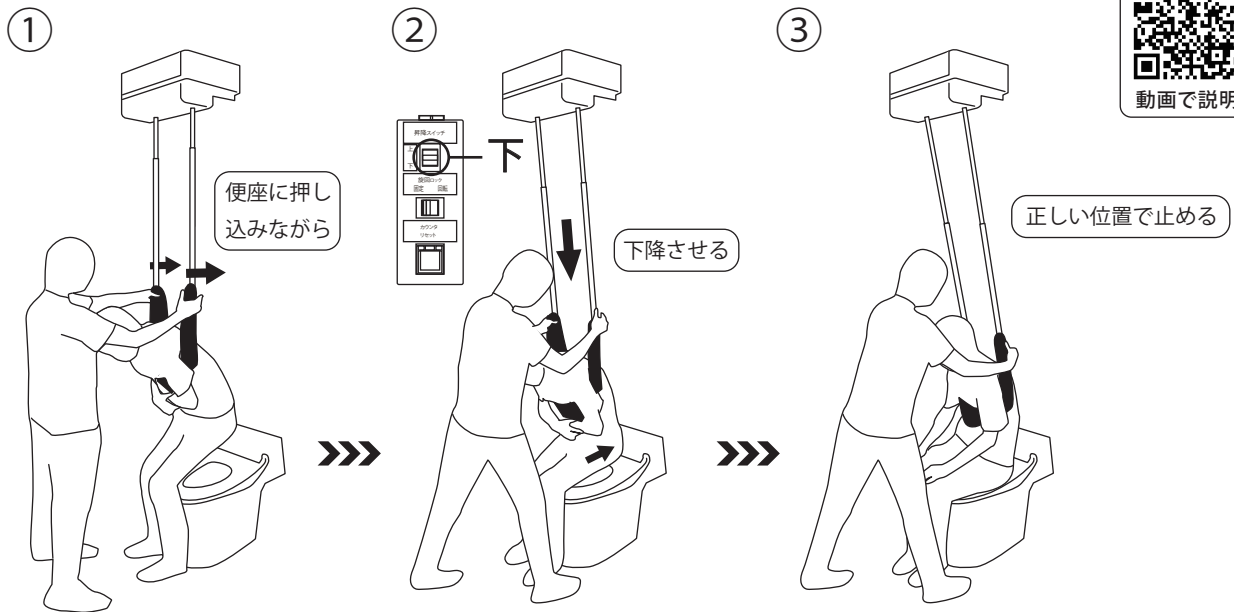


動画で説明



※体幹支持具に体重を乗せるには前傾姿勢をとり、支持具に胸を乗せることが重要です。前傾姿勢が不十分な際は、支持具が上方に外れることがあります。

# — 着座の介助 —



カーボンパイプを持ち被介護者を便座の方へ押すように誘導しながら、昇降スイッチで下降させる。

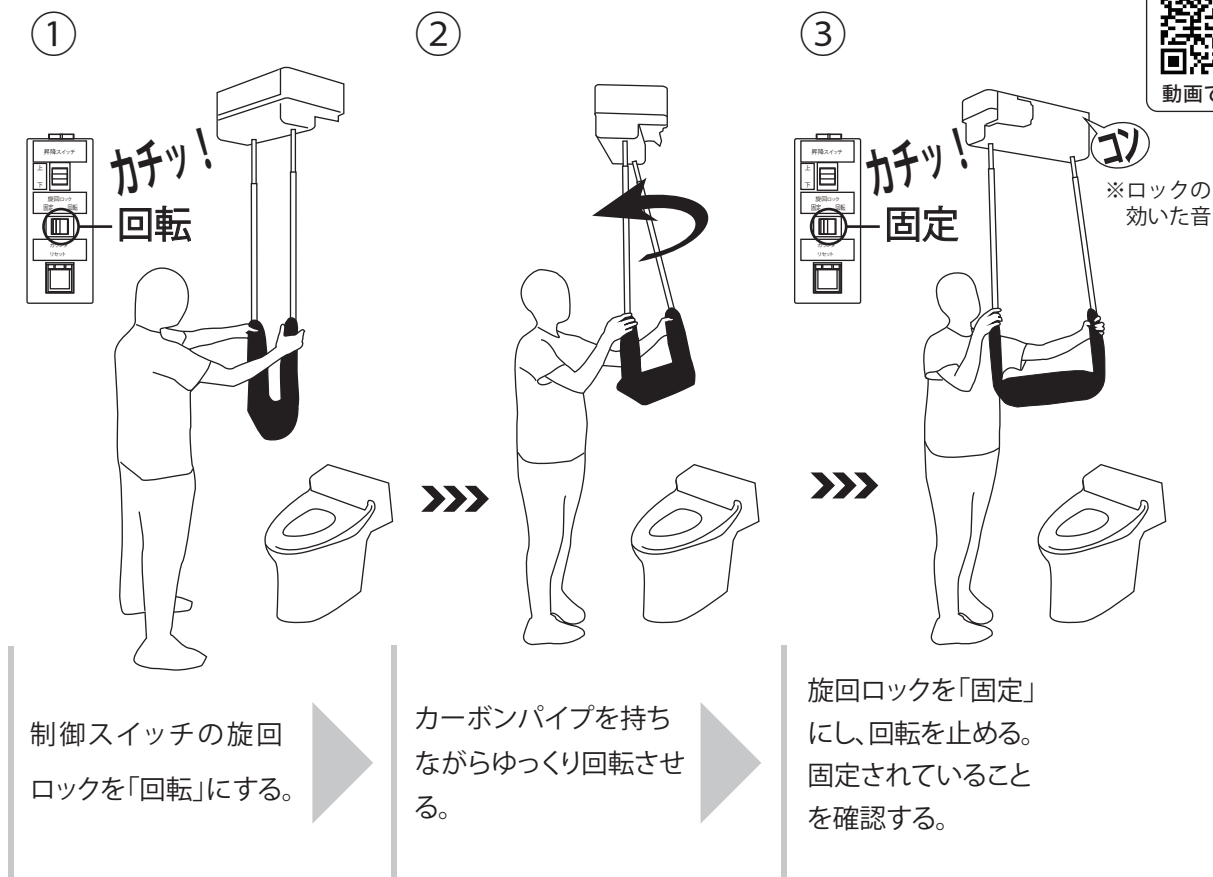
被介護者が体幹支持具に胸を乗せるような姿勢で、便座の位置を確認しながら着座させる。

着座を確認し、被介護者が体幹支持具で軽く引き上げられている位置で止める。

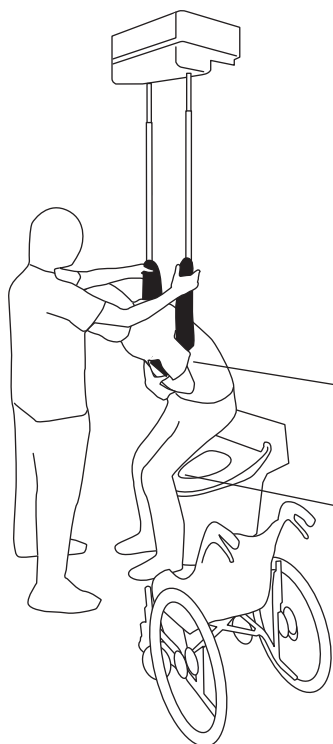
## 座位の「正しい位置」



## — 旋回機構を使う —



※旋回ロックを外さずに回転方向へ力を掛けた状態でロックを「OFF」にしても、ロックピンに力がかかっているため解除されない場合があります。その場合、回転を戻すか軽く揺さぶることでロックが解除されます。



## 移乗の介助

被介護者の移乗の際は、図のように膝が伸びきらず体幹支持具に胸を乗せた状態で回転して下さい。

その際、被介護者の残存能力を生かし自力でゆっくりと回転できるように補助して下さい。

体幹支持具に胸を乗せている状態

膝が伸びきらない位置

※P11 立位の「正しい位置」参照

# メンテナンス

## 外装のお手入れ

- ・最初に電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- ・汚れがひどい場合は、ぬるま湯にうすめた中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふき、仕上げに乾いた布で水分をふき取ってください。

## 体幹支持具のお手入れ

ご使用の前に縫製や生地にほつれ、破れなど無いか確認して下さい。  
損傷がある場合、使用しないで下さい。

汚れた場合、下記方法にて清掃して下さい。

### 軽度な汚れ、部分的な汚れの場合

- ①中のクッション材を取り出す。
- ②水を含ませ、よくしぼった布で拭きとって下さい。
- ③汚れが気になる場合、ぬるま湯に中性洗剤を含ませた布をよくしぼってから拭きとって下さい。

### 汚れがひどい場合

- ①中のクッション材を取り出す。
- ②ぬるま湯につけ、中性洗剤にて手洗いをして下さい。洗濯後は陰干しにて十分に乾燥して下さい。

次のお手入れのしかたは製品が変色や変質するおそれがあります。

- ・シンナー、ベンジン、アルコール、熱湯を使用する。
- ・ドライヤーなどで急激に乾燥させる。
- ・アイロンがけをする。

## 点検について

### — 日常点検

このような症状がありませんか。

- ・コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・動作中に異常な音・振動がある。
- ・スイッチを入れても、時々運転しないことがある。
- ・本体が変形していたり、こげ臭いにおいがする。
- ・機械がぐらつく。
- ・パイプが伸縮しない。
- ・左右のパイプが同じ動きをしない。
- ・回転機構がスムーズに回転しない。
- ・体幹支持具にほつれや破れがないか。
- ・設置用フレームにきしみやぐらつきがないか。

故障や事故防止のため使用を中止し、  
電源プラグをコンセントから抜いて、  
点検をご依頼ください。

### — 定期点検

カスタマーサービスによる定期点検を行って下さい。

そのさいに、必要な消耗品の交換とメンテナンスを行って下さい。

長期間使用しなかった機器を使用するときも、カスタマーサービスによる点検を行って下さい。

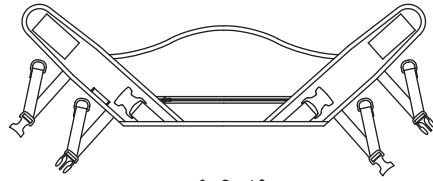
## 廃棄について

廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしただってください。

# 定格・仕様

販売名	サットイレ SAT01(回転機構有り) SAT02(リフト機構のみ)
使用電源	交流100V 50-60Hz
消費電力	161.4W
一般的名称	排泄動作支援機器
質量	本体 約14kg / 回転機構 約16kg
外形寸法	SAT01(回転機構有り) 高さ約34.5cm × 幅約55.2cm × 奥行約41.7cm SAT02(リフト機構のみ) 高さ約21.0cm × 幅約55.2cm × 奥行約27.6cm
製造販売元	株式会社がまかつ 兵庫県西脇市郷瀬町417
製造国名	日本

SATOILET



株式会社 **がまかつ**